

珠玉の演奏とともに魅惑の邦楽世界をやさしく紐解く邦楽サロン
茨木市在住の箏曲家・横山佳世子がご案内します

Vol.25

没後25年 沢井忠夫のDNA—夢の姉妹共演

不世出の現代箏曲家、天才・沢井忠夫が愛した秘蔵弟子が
25年の年月を経て茨木で夢の共演！

〈プログラム（順不同）〉

- ◇宮城道雄作曲 水の変態
- ◇沢井忠夫作曲 三つのバラフレーズ
- ◇横山佳世子作曲 題未定（初演）
- ◇西陽子作曲 月夜の海

〈ゲスト〉

歌・箏・十七絃：西陽子

「現代邦楽の旗手」と称され、箏の音楽を現代の芸術音楽として開拓した希代の天才箏曲家・沢井忠夫（1937～1997）は、演奏家としてだけでなく、作曲家・教授者として素晴らしい作品と大きな一派を創りました。

今回のゲスト西陽子さんとは、その沢井忠夫師の許へ子供の頃に入門し、優しくも完璧主義な薫陶を受け、師と同じ東京藝術大学の校舎でも学んだ同じDNAが流れる沢井忠夫チルドレンでした。

師の教室や芸大で顔を合わす機会はありませんでしたが、西陽子さんの輝かしいサラブレッドなお噂を、師はもちろんのこと、大多数の方々からいつも耳にし、いつしか唯一無二の憧れの姉弟子としてこれまで片思いをひたすら続けてまいりました。

今回の二十五回目の邦楽サロンを記念して、念願の姉弟子との夢の共演が実現する運びとなり胸が躍っております。

師が十八番としてよく演奏していた「水の変態（宮城道雄の処女作）」や、師が古典を踏いで作曲された第二重奏曲の姉妹共演と、各オリジナルソロ演奏（十七絃・二十五絃箏）を通じて、「沢井忠夫ism」や、「守破離」を経た「沢井忠夫チルドレンの現在（いま）」を感じ取って頂きたい存じます。

トークインタビューも含め、誰より私が一番楽しみな記念回です。初めての方も、邦楽ファン以外の方も是非この機会にご参加下さい。

横山佳世子

邦楽サロンの

横山佳世子の



令和4年3月4日【金】14:00開演（13:40開場）
茨木クリエイティブセンター・センターホール 舞台上特設サロン

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

公益財団法人
茨木市文化振興財団
IBABUN
Ibaraki City Cultural Foundation

文化力
POWER OF
CULTURE

横山佳世子の邦楽サロン



◆演奏とお話し：横山佳世子 よこやまかよこ

10歳より沢井忠夫に師事。東京藝術大学大学院修士課程修了。平成20年度「邦楽技才能者オーディション」合格、ビクターより合格記念主演CD「生田流箏曲 横山佳世子」リリース。平成20年度「文化庁芸術祭新人賞」、平成24年度「同優秀賞」受賞。平成24年度「京都市芸術新人賞」受賞。古典から現代音楽まで、幅広いレパートリーを持ち、積極的な演奏活動と教授・普及活動を行う。FM放送や海外公演も多数。鳴門教育大学非常勤講師。

◆歌・箏・十七絃：西陽子 にしよこ

1964年、和歌山市生まれ。4歳から生田流箏曲の手ほどきを受け、12歳で沢井忠夫氏に入門。後に沢井一忠氏にも師事。弱冠16歳で日本三曲コンクール入賞。東京藝術大学音楽学部邦楽科を1986年に卒業。卒業と同時に皇居内桃華楽堂にて御前演奏。KAZUE SAWAI KOTO ENSEMBLEで多くの海外公演に参加。和歌山で箏曲教室を開き、母校の県立桐蔭高校箏曲部でも指導を始める。1990年に和歌山で、93年には東京でデビュー・リサイタル。女性箏カカルテットKOTO VORTEXを結成。1994年、全曲委嘱新作によるリサイタル。藤枝守の「モノフォニー・コンサート」に参加、神奈川県立音楽堂レジデンスアーティストとしてTRIO DU MONDEを結成。高橋悠治プロデュースの伝統楽器グループ「糸」に参加。クラシック、現代音楽、民族音楽に触れ、編曲や即興演奏も通じての新たな可能性に挑戦する。2001年からリサイタルシリーズ「Face」、3年間で10回のコンサートを行う。03年から、木戸敏郎による古代楽器の復元による音楽活動に参画、箏篋や瑟、エジプトのアンギュラーハープを演奏。2006年にシリーズ「LETTER」を開始、3年間で5回のコンサート。音とことばによる歌の成り立ちをみつめ、社会や生活における音楽のありかたを模索。08年、世界経済フォーラム・ダボス会議で演奏。竹中平蔵氏との出会いから、経済と文化の一体交流を目指す。ソロコンサート「SPIRIT OF A TREE」でアメリカ3都市、ハンガリーとドイツツアー。欧米、アジア各地に招かれるほか、ブラジルでは2009年以来2018年まで毎年公演を重ねている。2010年から年にわたりコロロンビア大学に客員研究員として赴任、ニューヨークで創作演奏活動を行う。上海万博、小澤征爾音楽監督によるJAPAN,NYC音楽祭に出演。ニッポン放送「藤沢周平傑作選」の音楽を担当。11年、フルートとのデュオ・NINA DUOを結成し、カーネギーホールにて公演。14年、リトアニアにて権代敦彦の新作「桜の記憶」に出演。ソリストを務める。15年にはアジア・ヨーロッパ・南米を結ぶツアーを敢行、パリ・日本文化会館にてソロリサイタルを行う。21年新たなコンサートシリーズ「Poetic」「Koto Cross Composing Project」を開始。箏の音楽の伝え方を模索しつつ、作曲家との共同制作、また自ら作曲し、箏のための新しい作品を制作し、発信している。これまでに14カ国26都市でソロ公演を行い、音律を探究した「箏組曲〜植物文様〜」(1999年)、クラシックの音楽家とのコラボレーションによる「ファンタスマ」(2002年)、即興による「四季熊野」(10年)、これまでの集大成としての「月夜の子」(11年)、自作曲のみによる「The Magic Dragon」(13年)と5枚の多彩なアルバムをリリース。テリヤク・ライリー、アルヴィン・ルシェ、ムンドッグ、カール・ストーン、高橋悠治、一柳慧、石井眞木、吉村弘、鳥養瀬、大友良英、藤枝守、中川俊郎、寺嶋隆也、三輪眞弘、港大尋、伊左治直、新垣隆、権代敦彦、川島素晴、武智由香、斎藤徹らの作曲家、岡井隆、藤井直和、島田雅彦、伊藤比呂美、寮美千子、松井茂らの歌人・詩人、作家、サルトル・タヌモ、ジャン・サスポーラス(ピナ・バウシュ舞踊団)らの舞踏家、美音子グリーマー、中ザワテキ、兼吉昭彦らの美術家とパフォーマンスを行っている。海外との交流のいっぽう、和歌山を拠点に地域に密着しつつ開かれた活動を継続中。箏による演奏・創作・教授活動を通して、現代の世界や社会と深くつながる音楽活動をめざしている。和歌山県文化奨励賞、和歌山市文化奨励賞、和歌山市文化功労賞を受賞。オフィシャルウェブサイト <http://nishi-yoko.com>



令和4年3月4日 [金] 14:00開演 (13:40開場)

茨城市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール 舞台上特設サロン

1,500円 ◎茨城市観光協会、茨城市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

全席自由 ※観学前のお子様にご配慮ください

1月23日(日) 9:00予約開始

※発売初日はWeb・電話予約のみ、1回につき6枚まで ※チケットの引取、窓口販売は発売翌日から

チケットのお申込み・お問合せ

茨城市文化振興財団・文化事業係 ([電話] [窓口] 共に9:00~17:00)

[電話] 072-625-3055 [web] www.ibabun.jp

[窓口] 財団チケットカウンター (クリエイトセンター1階/福祉文化会館3階)

〈予約チケットのお取り取り〉

電話予約▶窓口/郵送

web予約▶窓口/郵送/コンビニ(セブン・イレブ) ※手数料無料

■郵便振込・郵送について

予約後5日以内に郵便局備え付けの「払込取扱票」でチケット代+手数料をお支払いください。※入金確認後発売

払込先：(払込口座) 00970-7-190576 (加入者名) 茨城市文化振興財団

※用紙の通信欄に口座名、枚数、予約番号をご記載ください ※手数料はご負担願います



チケット購入

〈感染症予防についてのお願い〉

ご来場の際は、感染症予防にご協力ください
ますようお願いいたします。詳しくは茨城市文化振興財団Webサイトにて最新の情報をご確認ください。



JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木駅から西へ徒歩12分。

茨城市駅前四丁目6番16号
☎ 072-624-1726